



令和8年5月

富田林市立

錦郡幼稚園

園内の新緑がまぶしく、さわやかな青葉の風によって、子どもたちの元気な声が響きます。新学期のスタートから3週間が経ち、毎朝の「おはようございます」の挨拶も少しずつ元気に、そして笑顔が増えてきたことをうれしく思います。

幼稚園のビオトープでは、いろいろな生きものが生息しています。先日、私が水辺をのぞき込んでいると網を持ってメダカをさがしている子どもがいて「ここにメダカがいたけど、すごい速さでいなくなった!」と伝えてくれました。また、水の中に『いさご』という、私も初めて聞く、そして初めて見た生きものについても、子どもたちから教えてもらいました。石の上の泥の跡を見て「何だろう?」と思い調べると、『いさご』の通った跡だとわかった話も聞きました。子どもたちは、驚いたことでしょう。

(私も『いさご』に興味が出てきて、調べてみるとトビケラ(成虫)の幼虫だったのです。トビケラは蛾に似ている生きものということとでびっくり!おもしろいですね。) 錦郡幼稚園の子どもたちは、じっくりと自然や生きものに向き合い、観察したり、不思議さを感じたり、考えたり、「何だろう?」知りたい気持ちになり調べたり、幼児期に必要で大切な経験を積み重ねています。幼稚園の教育では、このような“直接体験”を大切にしています。「不思議!」「おもしろいな」と心がゆさぶられ感じることで、「なぜ?」「何だろう」と考える力が育ち、またその感じたこと考えたことを誰かに伝えたいくなります。錦郡幼稚園では、「実体験」から意欲や主体性を育む保育、また「感じる心」「考える力」の育ちを丁寧に見ていくことを大事にし、地域の小学校や中学校、様々な人との関わりを大切に、子どもたち、保護者の方の笑顔がいっぱいの幼稚園を目指します。園内、地域には、季節を感じられる自然がたくさんあり、子どもたちにとって素晴らしい教育環境であると思っています。自分たちの住む町、富田林市の地域の自然から多くのことを学び、『ふるさと』のよさを肌で感じ、健やかに育ってほしいと願っています。これからも地域や保護者の方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

園長 石田 尚美

～育てたいこと～

<3歳児>

- ・生活のリズムに慣れ、好きな遊びを楽しむ。
- ・身近な自然に興味をもつ。

<4歳児>

- ・先生や友達と関わったり、自分の好きな遊びに夢中になって楽しんだりする。
- ・初夏を感じながら、身近な自然に興味や関心をもつ。

<5歳児>

- ・いろいろな友達と関わりながら、自分の思いや考えを伝え合うことを楽しむ。
- ・身近な自然に関わったり、体を動かしたりして遊ぶ楽しさを味わう。

